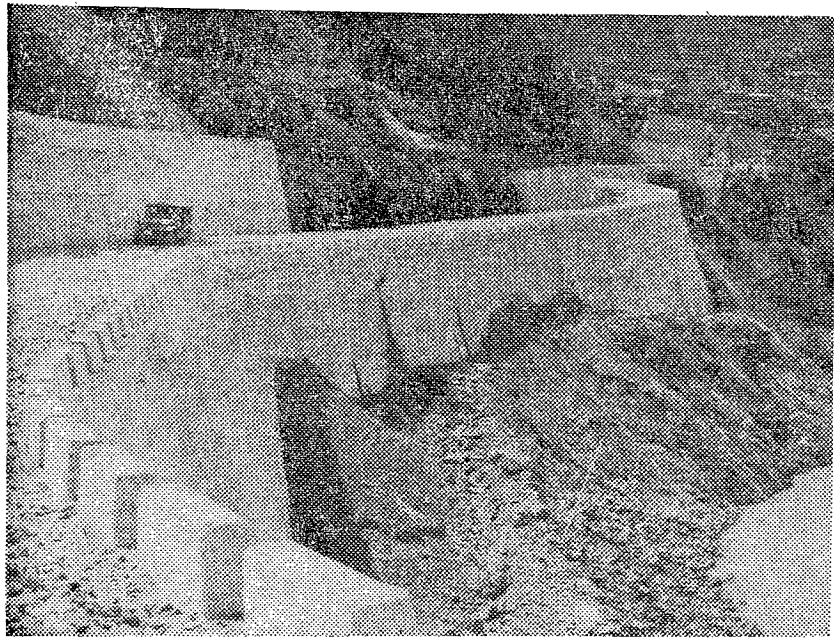


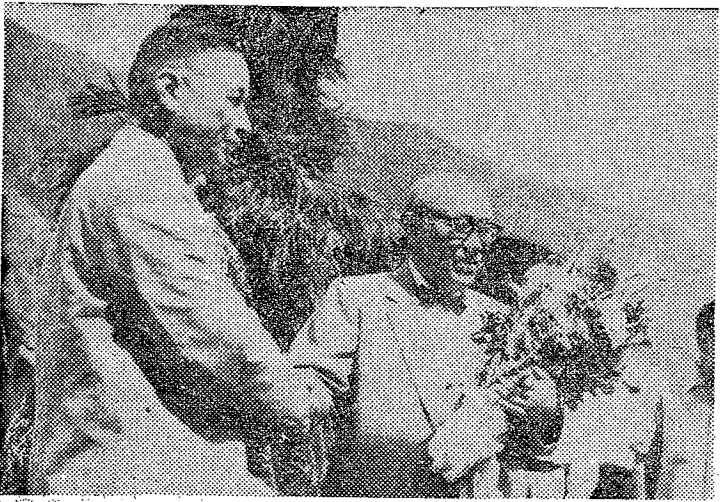
としよりの
ほほえむ家庭に
ひかりあり
としよりの福祉週間
9月15日～21日

県民の友

才266号 昭和34年9月1日
発行所 和歌山市小松原通1丁目1番地
和歌山県
発行人 文書広報課長 田中米市
毎月1回1日発行 定価1部2円50銭
昭和23年3月24日第三種郵便物認可
昭和29年5月28日日本国有鉄道特別取扱承認
雑誌第2816号



完成した国道新宮—大和高田線(上)県境で感激の握手をする小野・奥田(奈良)両県知事(下)



この日、本県での最後の工事地点であった東牟婁郡本宮町の八木尾橋で、小野知事、坂根議長をはじめ地元選出関係者、建設者および電源開発関係者、地元町長ら多数が参列して開通式が開かれ、小野知事が同橋に張られた紅白のテープを切つて渡り初め

が行なわれた。続いて八木尾公民館での祝賀会の際、午後二時和歌山、奈良両県境に立てられた祝賀テープの下で小野知事と奥田奈良両県知事が感激の握手をかわし、これを見守る地元民から思わず方々の声があがった。

この国道の開通は、熊野川沿線の住民にとって三十数年來の念願であり、県民にとつても紀勢線全通に次ぐ大きな喜びである。完成した新国道は、昭和二十八年五月に国道本宮—新宮停車場線と本宮—五条線が昇格し、新宮—大和高田線となつたもので、この地方では川

奥熊野の発展を約束 県境で両県知事喜びの握手

新宮—大和高田線開通

紀勢線全通の喜びに続いて、今度は紀伊半島を南北に縦断する二級国道百六十八号線(新宮—大和高田間百五十三・七)が三十数年ぶりに全通し、八月二十日和歌山、奈良両県で盛大に祝賀式が開催された。これに新宮一五各間は自動車でも五時間余りに短縮され、陸の孤島と呼ばれていた奥熊野・吉野地方も、産業・経済・文化などあらゆる面で発展が約束されている。

五条まで五時間半

祝賀式が開催された。これに新宮

文道路とよ呼ばれている。昭和初年に新宮市から着工して年々継続事業で工事を進め、昭和十七年に宮井まで(二十五)完成したが、ここで太平洋戦争のため工事を一時中断、昭和二十一年から再び改修を始め、二十八年に奈良まで完成した。その頃吉野熊野総合開発計画が具体化し、電源開発会社からの補償もあつて一昨年から急速に工事が進展

北陸臨海工業地帯の開発計画を審議する「北陸臨海工業地帯整備協議会」の設立総会は、八月二十七日県経済センターで開かれた。

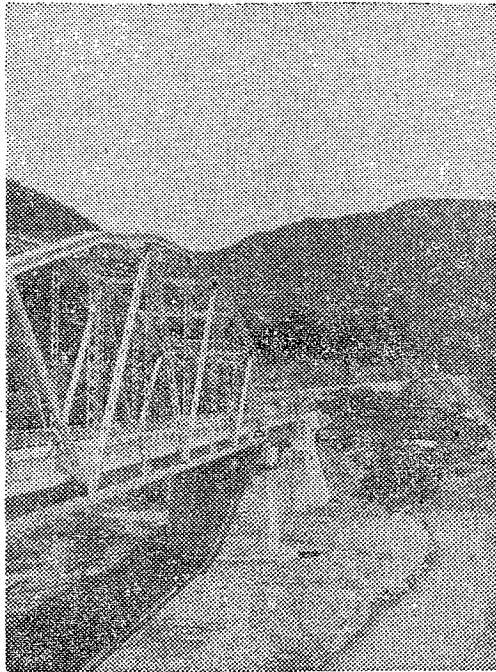
道路や港の整備へ

北部臨海協議会を設立

この協議会の会長は、関係市町(和歌山・海南・下津・初島・有田)の市長、助役、議長、副議長、関係協会常任委員長、商工会議所会頭らと、県では知事、副知事、議長、副議長および総務、経済、農林、土木各委員会の正副委員長で、会長には小野知事、副会長には坂根議長と高垣和心市長、監事に隅田海南、森川有田両市長が選任された。また各市町から重点構想がのべられた。計画案の主なものとは次のとおり。

- ▽埋立・海南港は第一地区六万七千坪の埋立てを本年度に完成し、第二地区も早期に着工する。有田川河口北岸に約六十万坪の埋立地をつくり、
- ▽石油工業の発展に備えるため、来年から着工する。
- ▽港湾整備—和歌山本港—現在水深九メートルの泊地しんせつをして、この土砂を利用して外港に岸壁築造用地を埋立て、接岸施設や物揚場を建設する。また防波堤を建設する。
- ▽和歌山南港—水軒浜前面に一大港湾をつくり、四十万坪の工業用地を造成する。
- ▽下津港—マンモスタンカー時代に備え、大崎の開発利用と
- ▽その他—街路、工業用水道同排水、都市改造など、いずれも早急に整備する。

農家の皆さんへ
米の売渡予約申込みは九月二十日までです。まだ済んでいない方は今すぐ申込んでください。
期日までに申込み、玄米百五十(二十)当り二千円の前渡金と百円の申込みを受けられます。



立派に架けられた八木尾橋

した。昨年二月に本宮町まで、続いて一年六カ月後に最後の区間であった本宮町八木尾—奈良の既設間(約十二)が完成したものである。

一ト造りの三里橋・三津野橋が年親しまれてきたいかだ流しや、プロペラ船が、本年中に姿を消すのは一まつの淋しさが感じられるが、そのかわりにバスの運行が約束され、近い将来には沿道のダムや発電所

あびることになる。また、なを始める。吉野、熊野国立公園の絶景を眺めながらドライブを楽しむのである。

すでに新宮市では、十津川地方からの物資購入の問い合わせがきており、奈良や中京方面との経済交流が盛んになることはもちろん、五十万石以上といわれる森林資源は、どしどし新宮市場にトラックで輸送され、紀勢線を通じて中京や東京方面に送られるわけで、紀州材の価値を一層高めることであらう。

県が昨年十月に行なった交通量調査では、本宮、新宮間で平均一日トラックが九十台、その他の自動車百九十台であるが、今後は木材を積んだトラックだけでも三百台程度に増加することが予想されている。

**あなたの目と耳で
凶悪犯人を捕えましょう**

★ 街頭や駅、映画館などにポスターをはつています。
よく見て、犯人の捜査にご協力下さい。

か2回 農業まつり

とき 9月18日(金)～21日(月)
ところ 第1会場…農業試験場(農業関係展示)
第2会場…本町公園(農機具実演展示)

本町小学校講堂で連日余興があります。

農業センサスに御協力下さい

